

自由民主党議員団

「区民と創る元気なかつしか」の実現に向けて

平成二十年度一般会計予算は、全体的には堅実に編成されており、高く評価します。以下、項目別に、わが党派の意見・要望を申し述べます。

総務費 総合庁舎整備基金積立金が利息分のみ計上されているが、劣化診断の結果を待つことなく、継続的な積立てを行うための資金計画を検討すべきではないか。震災復興マニュアル策定事業は、マニュアル作成のみにとどまらず、想定される被害状況に対応した検証を行うとともに、将来の復興を視野に入れた対策の充実に望む。

産業経済費 観光レクリエーション事業経費のユニバーサルデザイン化推進事業と、まちなみ情緒再生事業は民間の方が積極的に取り組んでいるが、行政側もうまく関わり、事業を成功させていたいただきたい。葛飾ブランド品の認知度を高めるため、テクノプラザかつしかや区役所本庁舎を初めとして、もっと区民の目に触れる場所で展示がされることを要望する。

福祉費 高次脳機能障害者に対する更なる支援や、障害者通所施設運営費の助成などについては評価します。高齢者施策については、特定高齢者の把握を進めるとともに一般高齢者に対して介護予防事業をしっかりとPRしていただきたい。ねたきり高齢者福祉事業のおむつ支給については、介護度により基準が設けられているが、介護度が低くてもおむつを必要とする区民もいるので実態を踏まえた対応をしていただきたい。扶助費の予算に占める割合が多く、財源は区民の貴重な税金であり、たとえば区民税の申告通知などを介して納税者に用途を判りやすく説明すべきである。

衛生費 中学校に設置するAEDについては大いに評価するが、江戸川河川敷の柴又野球場など多くの人がスポーツをする場所にもAEDの設置を

急がりたい。

環境費 生垣化、屋上・壁面緑化事業については、PRと啓発に積極的に取り組んでもらいたい。太陽光発電については、区民が利用しやすい制度や内容を検討し、環境教育の観点から、小中学校への設置を強く進めてもらいたい。

都市整備費 高砂駅踏切対策では、金町線高架化後の乗り換え利用者の安全性と利便性の確保に努めるよう、京成電鉄への積極的な働きかけを求める。JR金町、亀有、綾瀬駅から東京地下鉄西日暮里駅乗り換えの際の運賃問題に関しては、区議会からも意見書を出すなどJR東日本に働きかけているが、未だ良い回答がない。区としての積極的な働きかけを求める。

公園費については、水辺自然再生として、重点を置いて整備したことについて評価するが、より区民に利用しやすい管理体制に努めてもらいたい。

教育費 学校教育活動指導経費の充実により、「学習支援講師」「クラスサポーター」に加え、新たに「学習サポーター」を重点配置したことを高く評価する。学力向上とともにスポーツ・芸術に対する施策の充実にも一層努めてもらいたい。教育振興ビジョンを推進するためには、教職員への指導体制、魅力ある校長等の確保が必要である。小中学校の建て替えについては早期にタイムスケジュールを作成し、資金計画も検討すべきである。学校体育館の放送機器は老朽化により不具合があり、速やかな改善を望む。地域図書館については、未だ利用不便地域が残されており、地域活性化のための対応を求める。

最後に、国民健康保険事業特別会計では4月からの新医療制度への改正、社会情勢の変化により、収納率を注視する必要があります。一般会計からの繰り入れも増えるため、さらなる対策を検討すべきと考えます。

自由民主党区民会議

区民の目線に立つて 夢と希望あふれる葛飾に！

平成20年度当初予算編成は厳しい社会経済状況の下、起債や基金からの借入金を抑え、将来に備えた積み立てを行うなど財政運営上、健全な予算編成であることを高く評価する。

総務費 行革推進は区民サービスの向上を最優先に考えた取り組みを望む。大学誘致にあたっては周辺地域の将来像を明確に示し、多額の投資に見合う経済効果等の活性化に資する事業として進めることを望む。文化会館・亀有文化ホール等の指定管理者は次期事業者選定にあたって区民サービス向上と経費削減の効果を明確に示した選考を望む。期間を3年から5年に延長することは、安定したサービス提供が期待でき評価するが、期間延長によりさまざまなリスクの高まりが予想されるため、その対応を明確に協定の中に盛り込むことを強く求める。さらに指導監督する立場から組織の整備を求める。

産業経済費 不況対策の充実と観光事業のさらなる振興策を望む。農業振興は食の安全、後継者育成事業充実を望む。福祉費 民生児童委員が地域の中で果たす役割は益々重要になってきており一日も早く欠員を補充すべきである。障害者自立支援の取り組みは国に先駆けた施策として評価するが、親自身が要介護状態になった時や死亡した時など、自立支援は十分と言えないので葛飾らしい対応を要望する。子育て支援策は大変評価するが、本区の地域性を考え、パート・アルバイト、自営手伝い等の就労者に対し、保育等支援策を考えるべき。

衛生費 AEDを地区センターを初め、学校等の公共施設に配備してきたことは評価するが、今後は外勤職員等に研修を受講させ、公用車にAEDを積載し、より積極的に区民の緊急時に対応すべきである。食の安全と安心を

考え、冷凍食品農薬混入事件での初期対応を教訓に、今後の危機管理上、さらなる体制整備を検討すべきである。

環境費 葛飾区地球温暖化対策地域推進計画を踏まえ、温室効果ガスの積極的な削減に努めるべきであり、自然エネルギー利用においては、太陽光発電・風力発電等の予算を削除することなく取り組むべきである。

都市整備費 都市計画マスタープランの見直しでは従前のプランを総括し、今後の方向性や指針を明記すべきである。都市計画道路や土地区画整理事業を施行すべき区域は、長い間建築制限等を地権者に対し強いているので、早期実現に努めるべきである。また、そのためには、組織整備や職員のエキスパート化、専門員の配置を考えるべきである。東金町一丁目・新宿六丁目の街づくりは、金町駅へのアクセスや北部地域からのアクセス等交通の結節点整備とともに地域のインフラ整備をすべきである。また、河川の利用等を取り入れた地域一体の街づくり、かつ本区の特徴を生かした賑わいと潤いのある街づくりをすべきである。

教育費 今後10年で40校、20年ではほぼ全ての学校が改築時期を迎えることから、基金の積み立て、取り崩し額など区の財政計画とも整合性を図り、早急に学校改築実施方針の作成を望む。学校給食は、食材の安全確保に留意していることは評価する。児童生徒の郷土愛を育むためにも地産地消を進めるよう望む。校庭の夜間照明は、区民のスポーツ活動の場や災害時の避難場所として活用でき、また校庭の芝生化は環境問題からも必要なので積極的な取り組みを期待する。小中一貫教育は「葛飾モデル」の研究結果が一貫教育校以外の小中連携教育の充実に結びつくよう望む。わくわくチャレンジ広場の運営は、教育委員会が中心となり、学習活動など教育要素を加味しながら取り組んでいくとあるが、これまでに地域の中で築き上げてきたサポーターのチームワークや活動との調和を十分に図ることを望む。

基金七百億円の一部を使い 区民生活を応援する区政に

日本共産党葛飾区議会議員団

基金七百億円の一部を使い 区民生活を応援する区政に

区民生活は大変な状況です。いまこそ「住民の福祉の増進」につとめるべき身近な自治体が、その役割をはたすときではないでしょうか。

ところが二〇〇八年度予算案は、区民に冷たく背をむけたものとなっており、しかも、来年度末には七百億円を超える基金積立をおこなうのです。基金の一部を使って、区民の切実な願いを実現すべきです。

後期高齢者医療制度は中止・撤回を 四月から実施される後期高齢者医療制度は、七十五歳以上の高齢者を差別するものです。これに対し区は、東京都広域連合まかせという態度です。こんな制度は中止・撤回するしかありません。

毎年値上げする国保料 一九九九年度を除いて九四年度から毎年値上げし、増税に追い打ちをかけてきました。医療機関の窓口で全額払わなければならない資格証の発行は、足立、江戸川、墨田等の隣接区にくらべても、桁違いに多く発行しています。区民から医療を取りあげる区の姿勢をあらためるべきです。

ワーキングプア促進する区の雇用政策 「日雇い派遣」「ネットカフェ難民」、若もの雇用が深刻です。区の役割は、本来働くものぐらしをまもる手本となるべきなのに、正規職員を際限なく減らし、パートを増やしてきました。これを「行革」の成果と強調しました。これが自治体のもべき態度でしょうか。

品の検査体制の貧弱さを露呈しました。区はこれに逆行し、保健所がおこなっている検査を縮小しようとしている。これでは区民の健康と安全をまもることはできません。

子育て、中小企業支援には後ろ向き 学童保育クラブは、ひきつづき大規模化がすすんでいます。増設こそ一番の解決策です。保育園でも、待機児がふえています。公立保育園をもっとつくるべきなのに、逆に民営化をすすめています。

第三子以降の保育料無料化はよいのですが、条件がきびしく、対象は百二十人程度です。すべての第三子以降の無料化を求めます。中小企業のまちなのに、区の姿勢は後ろ向きです。悉皆調査をおこない実態把握につとめるとともに、大規模展示会等、区が積極的にとりこんでいくべきです。そのための予算も体制も、つよめるべきです。

人類の未来にかかわる地球温暖化対策 現在、計画を作成中の葛飾区は、削減目標をもたず、一つひとつの事業の目標も不明確です。太陽光発電設備の推進など、目標をもって積極的に取り組むべきです。積立て先にあきりの庁舎建替基金 庁舎劣化診断が予算化されました。いずれは建替が必要で、そのための基金も否定するものではありませんが、調査も計画もこれからのというのに、すでに一億円を積立しました。これでは、積立て先にあきります。

日本共産党区議団は、区民の願い実現へ予算組み替え動議を提出しました。が、自民、公明、民主等オール与党の反対多数で否決となりました。妊婦健診の十四回無料化、三菱製紙跡地の巨大ショッピングセンター計画撤回など、区民のみなさんといっしょにとりくみ、実現できました。くらしと営業、命と健康、平和と民主主義を応援する区政へ、これからも全力でとりくんでまいります。

くらしと営業、命と健康、平和と民主主義を応援する区政へ、これからも全力でとりくんでまいります。